学力向上に向けた授業改善のポイント（小学校国語）

県北教育事務所

◇　俳句の情景や表現の特徴を捉えて読むこと（「読むこと」）

学習指導要領における、「登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述についての考えをまとめること」（第５・６学年Ｃ読むこと）及び「易しい文語調の短歌や俳句について、情景を思い浮かべたり、リズムを感じ取りながら音読や暗唱をしたりすること」（第３・４学年　伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）に関連する問題です。

4

中西さんのグループでは、月の様子をよんだ俳句を調べ、その中から選んだ好きな俳句について、学級で紹介しようとしています。次は、選んだ俳句についてまとめた【俳句カード】と好きな俳句を紹介するための【話し合いの様子】です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【俳句カード】

ア　雪とけてくりくりしたる月夜かな　小林一茶

〈調べた内容〉
季語…雪とけて　季節…春
この俳句は、「寒い冬が終わり、雪がとけ、春が来た。月もきれいで明るくかがやく夜だなあ。」とよんでいるそうです。

イ　ひやひやと月も白しや秋の風　上島鬼貫

〈調べた内容〉
季語…秋の風　季節…秋
この俳句は、「秋のここちよい風がふく中では、月の色もひんやりと白っぽいなあ。」とよんでいるそうです。

【話し合いの様子】

北田　アの句は、「くりくりしたる」の「くりくり」がおもしろいね。声に出して読んでみるよ。（音読）

中西　リズムよく読めて、読むのが楽しくなるね。「くりくり」というのは、月の（　Ａ　）を表しているのかな。春になったのがうれしいのかもしれない。

本間　イの句の「ひやひや」も「くりくり」と似ているね。どちらも声に出して読んで紹介すると、俳句のよさがもっと伝わりそうだよ。（音読）「ひやひやと」を声に出して読むと、ひんやりした感じがますます伝わってくるような気がした。「白」という月の色も、なんだかひんやりとした感じがするね。

青木　そうか。ふいてくる風からも、見ている月からも、ひんやりした秋を感じているんだね。

中西　作者の伝えたかったことって、今、青木さんが言ったことなのかもしれないね。このこともみんなに紹介しよう。

二　中西さんのグループでは、話し合いを通して、自分たちが見つけた俳句のよさについても紹介しようとしています。紹介しようとしている内容として最も適切なものを、次の１から４までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

１　言葉のひびきや作者の季節を感じる心
２　それぞれの作者の生き方や考え方
３　月の形が変化する様子や構成のくふう
４　季語の使い方や季語から想像したこと

＜学習指導に当たって＞

情景や作者の思いを想像したり、想像したことを交流したりする

俳句の指導にあたっては、児童が俳句を繰り返し音読しながら、言葉の美しい響きや俳句のもつリズムに着目して、俳句に表れている情景や作者の思いなどについて感じたことを交流することで、自分が想像したことを広げたり深めたりすることが大切です。

地域の景色を詠んだ歌や句などを教材として、心に残る俳句などを暗唱して紹介したりする学習を行うことも考えられます。

（参照）「言語活動事例集」P43～44

【H29全国学力・学習状況調査Ａ問題　4二】

◇　目的や意図に応じて文章全体の構成を考えること（「書くこと」）

学習指導要領における、「自分の考えを明確にするため、文章全体の構成の効果を考えること」（第５・６学年Ｂ書くこと）に関連する問題です。

2

森さんたちは、「緑のカーテン」を作るため、同じ学年の友達に協力してほしいと思い、次の【緑のカーテン作りへの協力のお願い】を書いています。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【緑のカーテン作りへの協力のお願い】

緑のカーテン作りへの協力のお願い
６年１組　森・中村・秋山

緑のカーテンとは

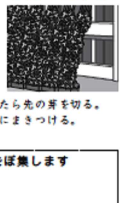
夏が来ると、教室が暑くなってこまったことはありませんか。わたしたちは、それを解決するために緑のカーテンを作ることにしました。

緑のカーテンとは、まどの外に植えたアサガオなどの植物で、日ざしをさえぎるようにしたものです。緑のカーテンを作ると教室をすずしくすることができます。

中には布のカーテンをしめればよいという人もいるかもしれません。しかし、緑のカーテンを使うと布のカーテンよりも室内の温度を下げることができます。例えば、『緑のカーテンを始めよう』という本には、「　ア　」と書かれています。緑のカーテンは、夏をすずしく過ごすためのくふうの一つなのです。

緑のカーテンの作り方

わたしたちは、できれば１階から３階までの全教室をおおうように緑のカーテンを作りたいと考えています。そこで、次のように作ろうと思っています。



1　大きな植木ばちを用意し、肥料と土を入れて１階に置く。
2　１階から３階までネットをはる。
3　アサガオの種をまく。
4　たくさんの水をやる。
5　一番太いつるが１ｍぐらいになったら先の芽を切る。
6　芽が分かれてのびてきたらネットにまきつける。
7　７月になったら肥料を追加する。

水やりに協力してくれる人をぼ集します

一　森さんたちは緑のカーテンを知らない人にも、緑のカーテンが必要な理由を伝えようと、文章の構成をくふうしました。そのくふうとして最も適切なものを、次の１から４までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

１　夏の教室が暑いとどう困るのかの具体例を、最初に書いている。
２　最初と最後の段落に、水やりに協力してほしいということを書いている。
３　緑のカーテンの作り方について要約した文章を、最初に書いている。
４　緑のカーテンの説明を、緑のカーテンの作り方の前に書いている。

＜学習指導に当たって＞

目的や意図に応じて、文章の構成を考える

相手や目的意識をもって内容や構成を考え、文章を書く活動として、次のような単元設定例が考えられます。

- 自分たちの係活動を友達に説明して、協力してもらう。（依頼文）
- ４年生に委員会活動の推薦をして、選ぶときの参考にしてもらう。（推薦文）
- ３年生にクラブ活動の楽しさを知ってもらい、興味をもってもらう。（紹介文）

児童の日常生活から**書く必要のある題材**を選び、書くことによって**どのようなよさが期待できるか**など、見通しをもたせることが大切です。

【H29全国学力・学習状況調査Ｂ問題　2一】

☆　単元のねらい、１時間のねらいを明確にして授業に臨みましょう。
☆　自分の考えが、どの叙述に基づいているのかを明らかにしながら表現させましょう。
☆　自分の考えを広めたり深めたりする学習活動を指導過程の中に位置付けましょう。
☆　漢字のもつ意味を考えながら、文や文章の中で正しく使えるように指導を工夫しましょう。